

平成25年度市民アンケート結果報告書

宗 像 市

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の方法	1
(3) 調査内容	1
(4) 回収結果	3
(5) 標本誤差	4
(6) 回答者の属性	4
(7) 報告書の見方	6
2. 調査結果	7
(1) 宗像市の印象などについて	7
(2) 地域活動・ボランティア・企業連携などについて	9
(3) 男女・人権意識などについて	14
(4) 生涯学習・文化・スポーツ・教育について	19
(5) 都市基盤・産業の振興について	26
(6) 買い物について	34
(7) 環境について	39
(8) 防災・防犯・交通安全について	47
(9) 健康福祉について	50
(10) 行政について	66
(11) 現在の満足度・今後の重要度	74

1 調査の概要

(1) 調査の目的

宗像市の各施策に対する市民の生活実感に基づく現在の満足度、今後の重要度や市の施策の取り組みの結果を評価・分析するための「まちづくり指標」のアンケート調査項目の現状値を把握し、本市の今後のまちづくりに活用する。

(2) 調査の方法

- ①調査地区 宗像市全域
- ②調査対象 市内在住の18歳以上の男女2,000人
- ③抽出方法 住民基本台帳（平成25年12月末日現在）から無作為抽出
- ④調査方法 郵送による配布、回収
- ⑤調査期間 平成26年2月1日～2月18日
- ⑥調査主体 宗像市 経営企画部 経営企画課

(3) 調査内容

本調査では、日常生活や生活意識及び第一次宗像市総合計画の後期基本計画の第1章から第5章までの各節に対応した項目ごとに現在の満足度、今後の重要度を尋ねた。アンケート中の各項目と総合計画後期基本計画の施策対応表は、以下のとおりである（表1-1）。

表 1-1 アンケート項目と施策の対応表

整理番号	アンケート中の項目名	基本計画中の施策名
1	市民が主体的に取り組むまちづくり	コミュニティ活動・市民活動の推進
2	行政と市民との情報の共有	市民との情報の共有
3	人権尊重・男女共同参画	人権尊重・男女共同参画の推進
4	生涯学習活動	多様な学習機会の創出
5	生涯スポーツ活動	生涯スポーツ活動の推進
6	歴史文化の継承	歴史文化の継承
7	市民による文化活動の活性化	市民文化の創造
8	子育て支援	子育て支援
9	青少年の健全育成	青少年の健全育成
10	信頼される学校運営	信頼される学校運営の推進
11	自然、都市、産業が調和のとれた土地利用	調和のとれた土地利用の推進
12	生活しやすい住環境	良好な住宅都市の形成
13	赤間駅周辺の活性化	中心拠点の活性化
14	道路ネットワーク	道路ネットワークの充実
15	公共交通の利便性	公共交通の利便性の向上
16	観光の振興	観光の振興
17	農業の振興	農業の振興

18	水産業の振興	水産業の振興
19	商工業の振興	商工業の振興
20	ごみの適正処理とリサイクル	ごみの適正処理とリサイクル
21	快適で衛生的な生活環境	環境衛生の向上
22	水の安定供給	水の安定供給
23	汚水の適正処理	汚水の適正処理
24	海と川の美しいまち	水辺の美しいまち
25	環境にやさしいまち	環境にやさしいまち
26	防災・危機管理体制	防災・危機管理体制の強化
27	防犯対策	防犯対策の強化
28	交通安全対策	交通安全対策の推進
29	安心できる消費生活	安心できる消費生活の実現
30	誰もがその人らしく自立して生活できる社会の確立	共生するまちづくりの推進
31	地域における福祉活動	地域保健福祉活動の推進
32	健康づくり	健康づくりの推進
33	地域医療・救急医療	地域医療・救急医療の推進
34	高齢者の生きがいづくり	高齢者の生きがいづくりの推進
35	高齢者福祉サービス	高齢者福祉サービスの充実
36	障がい者が自分らしく安心して暮らせるまちづくり	障がい者の地域生活の向上
37	介護保険の健全運営	介護保険の健全運営
38	国保・後期高齢者医療保険の健全運営	国保・後期高齢者医療保険の健全運営
39	生活支援	生活支援の充実

(4) 回収結果

回収数は、815 件（回収率 40.8%）であった。性別、年齢別、居住地別の母数と回収数は以下のとおりである（表 1-2）。

表 1-2 性別・年齢別・居住地別母集団数及び回収数

■男女別	人口数	人口割合	回収数	割合
男性	37,699	46.8%	257	31.5%
女性	42,865	53.2%	386	47.4%
無回答			172	21.1%
計	80,564	100%	815	100%
■年齢別	人口数	人口割合	回収数	割合
18～29歳	12,253	15.2%	67	8.2%
30～39歳	12,070	15.0%	89	10.9%
40～49歳	11,828	14.7%	99	12.1%
50～59歳	12,507	15.5%	109	13.4%
60～64歳	7,987	9.9%	109	13.4%
65歳以上	23,919	29.7%	313	38.4%
無回答			29	3.6%
計	80,564	100%	815	100%
■居住地別	人口数	人口割合	回収数	割合
吉武	1,703	2.1%	13	1.6%
赤間	13,776	17.1%	131	16.1%
赤間西	8,170	10.1%	79	9.7%
自由ヶ丘	12,715	15.8%	138	16.9%
河東	12,653	15.7%	122	15.0%
南郷	4,812	6.0%	36	4.4%
東郷	7,958	9.9%	79	9.7%
日の里	10,179	12.6%	110	13.5%
玄海	2,876	3.6%	32	3.9%
池野	3,142	3.9%	25	3.1%
岬	1,949	2.4%	11	1.3%
大島	631	0.8%	11	1.3%
無回答			28	3.4%
計	80,564	100%	815	100%

(5) 標本誤差

本調査は、標本調査であり、この結果と市民全体の考えとの間には誤差が生じることがある。これは、標本誤差と呼ばれるものであり、以下の式で計算することができる。

本調査の標本誤差は、信頼度を95%とすると、下表のとおりである（表1-3）。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

(注) Nは母集団数(80,564人)、nは有効回答者数815人、pは標本比率を表す。

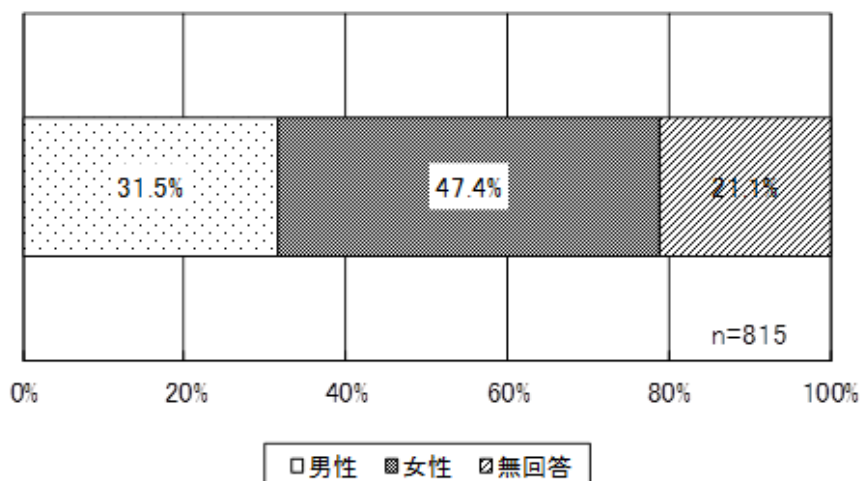
表 1-3 標本誤差早見表

標本比率	標本誤差率
10%または90%	±2.05
20%または80%	±2.73
30%または70%	±3.13
40%または60%	±3.35
50%	±3.42

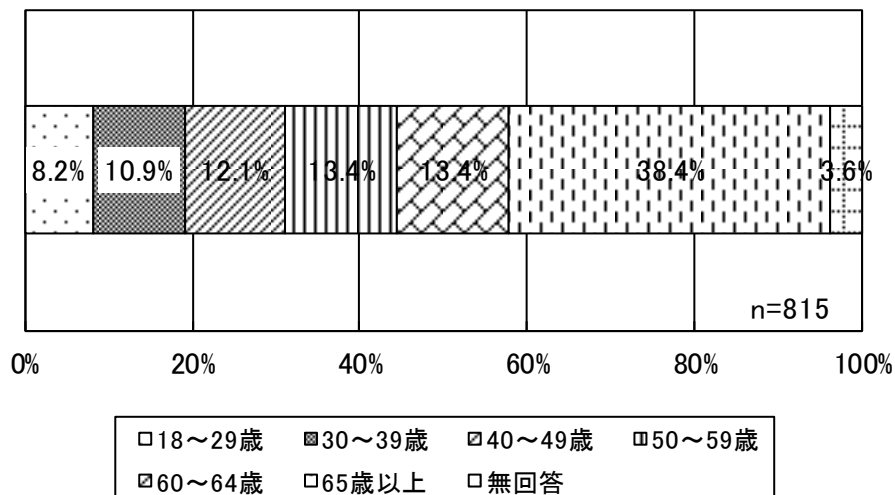
例えば、ある項目の満足度が50%であった場合、母集団の満足度は50%の±3.42%であると推計される。つまり、母集団である宗像市民全体の満足度は、46.58%から53.42%の間にあると考えられる。

(6) 回答者の属性

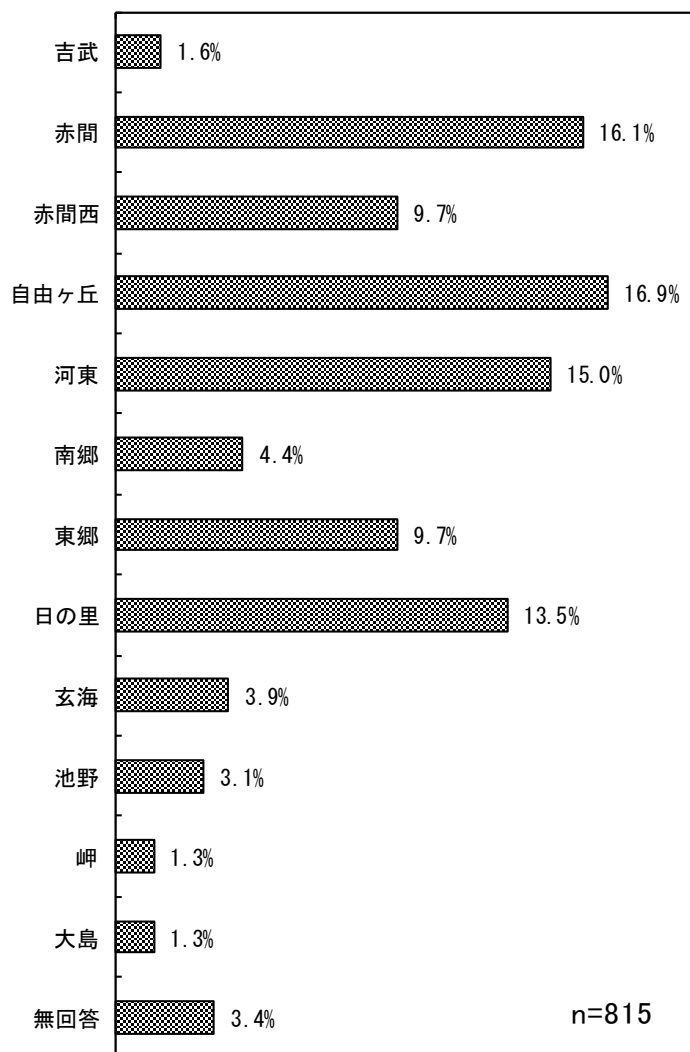
①性別



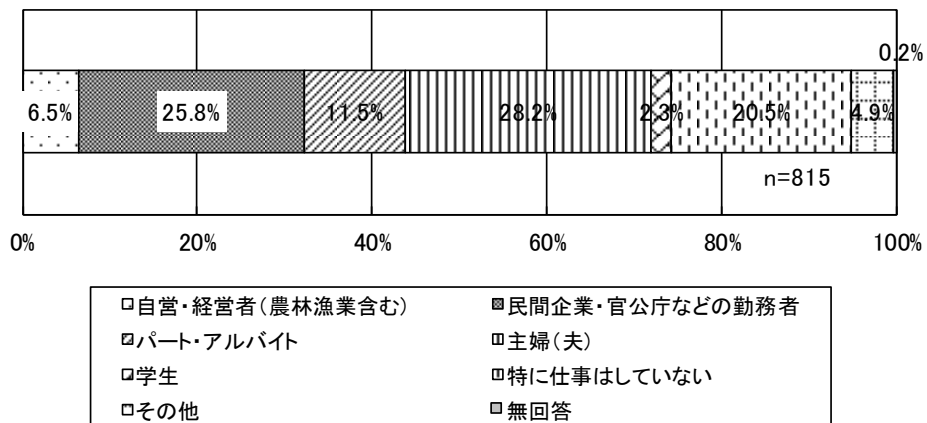
②年齢



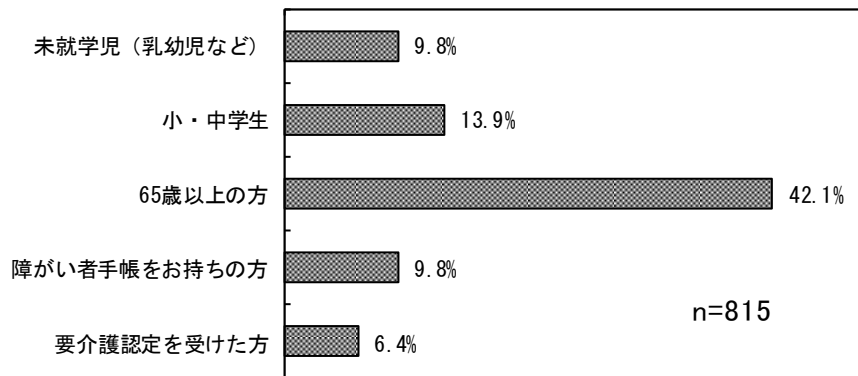
③居住地



④職業



⑤回答者自身と同居の家族



(7) 報告書の見方

本報告書では、調査結果の数値は原則として回答の選択率(%)及び構成比(%)で表記しており、小数点以下第二位を四捨五入している。したがって、合計しても100%にならない場合がある。

居住地別で分析する場合、標本数の関係で、吉武、赤間地区をまとめて「吉武・赤間」地区として、玄海、池野、岬、大島地区をまとめて「旧玄海・大島」地区として分析・表記している。